

J03 情報社会学科プログラミング講義の実施状況報告（ポスターセッション：ジュニア部門）

著者	木谷 友哉, 石川 翔吾
雑誌名	発表予稿集：情報学シンポジウム
巻	2017
ページ	7-7
発行年	2017-10-14
出版者	情報学シンポジウム実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10297/10428

情報社会学科プログラミング講義の実施状況報告

木谷友哉, 石川翔吾 (情報科学科)

情報社会学科においても1年後期に必須科目としてプログラミングを開講している。プログラミング言語を習得するのではなく、計算論的思考としてのプログラミングを習得することを目的としている。より直感的にプログラムを実装できる独自の開発環境を利用してJavaプログラミング演習を行うことで、文系入試により入学した受講生でも全員がプログラミング作品を自分の手で開発できるようになっている。本発表では講義の実施内容に加えて、実際に学生が作成したプログラミング作品を紹介する。

(プログラミング)

アイドルファンのための幸福度ランキング

小山詩乃 (情報社会学科), 吉川みのり (情報科学科)

この研究では、オリジナルの都道府県別幸福度ランキングを作成しました。私たちの幸福度ランキングは、特にアイドルファンに着目したランキングとなっています。ランキングを作成するにあたって、CDやDVDの買いやすさ、主要コンサート会場までの時間と交通費、テレビのチャンネル数、県内イベントの多さの4つの項目について、アイドルファンの方に匿名アンケートを行いました。また、これらの項目をアイドルイベントサイトやGoogleマップ、CD、DVDショップの店舗数などによって調査し、アンケートを参考に重みづけを行いました。重み付けの方法は、各項目を(最大値-最小値)/10で10段階にポイントをつけ、その重要度に応じて比重をかけました。CD、DVDの買いやすさが2.4倍、主要コンサート会場までの時間と交通費が2.1倍、テレビのチャンネル数が1.2倍、県内イベントの多さが1倍となっています。これらの調査を行った結果、1位が東京、2位は大阪、3位は愛知という日本三大都市がトップ3を占める結果となりました。東京が1位である理由としてはイベント数が圧倒的に多かったことが考えられます。また、東京郊外は47都道府県中22位以内にランクインしていることがわかりました。これは、東京が1位であることに関連しているのではないかと考えられます。一方、中国地方や東北地方ではランク低位の県が多くみられることがわかりました。これは各県で行われるイベント数が少ない他、交通の便が悪いことも考えられます。これらの結果より、アイドルファンは都市圏に住んだほうが幸福に感じることができるという結論に至りました。

(学習マネジメント, 担当教員: 中澤高師)

主観的幸福と客観的幸福

清田直希 (情報社会学科)

この研究では、「幸福度指標の提案」のための基礎的な考察を行った。所得は客観的な幸福度指標と言われている。しかし、所得と幸福度の相関関係などの様々な調査結果が、所得そのものが